

育てたい子ども像
言葉の力を使って思いや考えを伝えあい、理解し合い、ともに生きていこうとする子ども

発達段階	育てたい子ども像	単元 学習活動	つけたい言葉の力・育てたい姿勢		
			【話す・聞く力】	【話し合い】	
I 期	小学校 1学年	「おはなし きいて」 経験したことを報告したり、それらを聞いて感想を述べたりする。	○経験の中からみんなに話したいことを選び、 話の順序 を考えながら、丁寧な言葉を使って話す。 ○話の 大事なことを落とさない ように興味をもって聞く。		
		「これは、なんでしょう」 尋ねたり応答したりする。物事の説明をする。		○分からないことや詳しくききたいことを 尋ねたり、それに答えたりする。 尋ねる、答える	
	2学年	「ともさんはどこかな」 迷子探しゲームをする。 必要なことについて身近な人と連絡し合う。	○絵の内容に興味をもち、大事なことを聞き落とさないようにしながら、聞く。 ○必要な事柄を選び、 声の大きさや速さ に注目して、はっきりと話す。		
		「あったらいいな、こんなもの」 自分が考えた道具について、互いに紹介する。	○自分が考えた道具について、説明に必要な事柄を考え、分かりやすく話す。	○互いの話を集中して聞き、お互いの気持ちを理解し合う。 話題に沿って	
	3学年	「よい聞き手になろう」 出来事の報告をしたり、それを聞いて感想を述べたり質問したりする。	○話の中心に気をつけて聞き、質問したり感想を言ったりしている。 ○適切な言葉遣いで道筋を立てて話し合っている。 ○聞き手に伝わるように言葉を選んで話している。 ○指し示しているものが、共有されているかどうか注意しながら、指示語を正しく使っている。		
		「つたえよう、楽しい学校生活」 学校生活を振り返り、楽しさを伝える。 グループで説明したい内容を話し合う。 インタビューの仕方を知る。	○準備をしたうえで、丁寧な言葉を用いるなど、適切な言葉遣いでインタビューする。	○互いの考えの共通点や相違点を考えながら、説明する内容や方法について話し合う。 ○司会や提案などの役割を果たしながら、 進行に沿って話し合う。	
	4学年	自分の考えをはっきりさせ伝え合おうとする子ども	「ばらばら言葉を聞き取ろう」 チームで工夫して「ばらばら言葉」を伝え合う。	○相手が聞き取りやすいようにはっきりと声を出す。 ○相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話す。	○相手にはっきりと伝えるための工夫について話し合う。
			「よりよい話し合いをしよう」 よりよい話し合いについて考え、学級全体で話し合って考えをまとめる。	○司会や提案者などの役割と話し合いの目的を理解し、それぞれの立場で参加している。	○話し合いを進める言葉、人間関係を損なわない言葉や話し方について考えながら話し合う。 ○互いの考えの共通点や相違点を考えながら話し合う。
「ごんぎつね」 ごんぎつねを読んで考えたことを発表し合い、互いの考えの共通点を考えながら話し合う。		○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の行動や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像したことを話す。	○考えの違いや共通点を考えながら話し合い、一人一人の感じ方の違いに気付く。		
5学年		「明日をつくるわたしたち」 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書く。	○話題に対する自他の考え方、感じ方の違いを知り、それを表すことができる。	○話題を決めて、収集した知識や情報を関連づけ、互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。 意図をはっきりさせ計画的に	
II 期	自分の考えを明確にし、工夫して伝え合おうとする子ども	「すいせんします」 説得力のある構成を考え、すいせんするスピーチをする。	○目的や意図に応じて、事例が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。		
		「未来がよりよくなるために」 意見を聞き合って考えを深め、意見文を書く。	○自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。 目的や意図に応じて話の構成の工夫	○互いの考えの違いや意図をはっきりさせ、計画的に話し合うことができる。	
	6学年	「今、私は、ぼくは」 話し方を工夫し、資料を示してスピーチをする。	○今思うことを伝えるために、必要な資料を準備し、話し構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。	○印象深く伝わるように話し方について話し合うことができる。	
中学校 1学年	相手の思いを受け止め相手を理解しようとする子ども	聞き上手、話し上手になるために 話し方を工夫し、資料を示してスピーチをする。	○12歳の今思うことを伝えるために、話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話す。 ○話し手の思いを受け止めながら聞き、自分の思いや体験と比べるなどして感想をまとめる。		
		スピーチしよう 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言したりする。	○ 聞き手の反応 に注意しながら話をする。 ○さらに知りたいことやわからないことについて質問する。		
		討論ゲームをしよう 日常生活の中の話題について討論を行う。	○ 相手の意見をふまえ ながら話す。 ○相手の発言を聞いて、自分の考えをまとめる。		
III 期	2学年	パネルディスカッションをしよう 社会生活の中の話題について司会や提案者などを立てて討論を行う。	○異なる 立場や考えの人にもわかる ように自分の考えをまとめる。 立場や考えの違いを踏まえ	○相手の 立場や考えを尊重し 、目的にそって話し合う。 相手の立場や考えを尊重し	
		紹介スピーチをしよう くじにより指定された人とペアを組み、互いにインタビューをし合い、相手の魅力を全体の前で紹介し合う。	○目的に応じて聞き取り、要約することができる。 ○ 構成を工夫して話す ことができる。		
	3学年	句会をしよう 取り合わせによる俳句づくりをする。句会を開き、意見交換の中で、俳句に対する考察を深める。	○敬語を適切に用いて俳句についての自分の考えを述べる。	○俳句から読み取れる情景や心情の広がりを発表し合い、意見交流をすることによって俳句についての自らの考えを深める。	
		企画会議を開こう 社会生活の中の話題について、相手を説得するために意見を述べ合う。	○ 資料などを活用 して説得力のある話をする。 資料などの活用	○話し合いの 展開や進行 を工夫し、互いの考えをいかし合う。 展開や進行の工夫	
		対話劇を体験しよう 時間や場の条件に合わせてスピーチしたり、それを聞いて自分の表現に参考にしたりする。	○状況や相手に応じて言葉を使い分ける。 ○ふだんの話し言葉について考えを深める。		